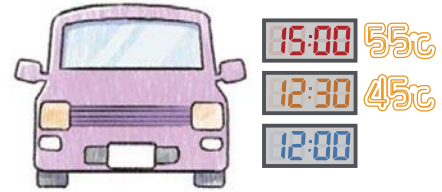


夏の車中高温対策

猛暑日になると急激に増加する熱中症。特に車中には熱中症だけでなく、思わぬ危険がたくさん潜んでいるので万全な対策を!

真夏の炎天下に車を停車。車内の温度は?

エンジンを止めて、わずか30分後には45℃に達し、3時間後には55℃に上昇。
※JAF(日本自動車連盟)の行った車内温度変化テスト結果より。
8月の晴天、外気温35℃の状況下で12時~測定。



高温車内に潜むリスクは?

①熱中症

高温多湿な環境に体が適応できず、さまざまな症状を引き起こします。たとえば、エアコンもつけず閉めきった車内に15分ほどいるだけで熱中症の危険度はマックスに!

②やけど

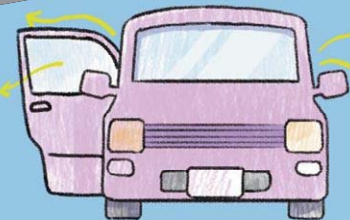
ハンドルやシートベルトの金属部分などは、室内温度よりさらに高温に。特にチャイルドシートの金属部に注意が必要。

③スマホの故障やスプレー缶などの爆発

②同様、ダッシュボードも高温になります。うっかりスマホを置き忘れると故障の原因に。また制汗剤などのスプレー缶は爆発の危険もあり、大ケガを招くことも。



Point



車内温度を上げない・下げろコツ

- 屋根付き、または日陰の駐車場を利用する。
- 市販のサンシェードや窓ガラスには断熱フィルムの装着も一考。
- 自宅にはカーポートの設置をオススメ。車内温度上昇を防ぐだけでなく、太陽光などによる車の劣化予防にも最適です。
- 停車後、運転再開する前に助手席側の窓を全開にし、運転席側のドアを5回程度開閉し、車内の熱気を外へ逃がす。

オススメ商品
フーゴF

「守る強さ。伝わる美しさ。」をテーマにしたニュー・スタンダードのカーポート



© 株式会社 LIXIL

耐風圧強度 風速 =42m/ 秒相当を標準化。これからの時代にフィットするサイズ設定。細部にまで意匠性を磨き上げた美しさの進化。これからのカーポートが目指すべきニュー・スタンダードなカーポート『FUGO』シリーズは、屋根材バリエーションも豊富で、強い日射しによる車内温度上昇を軽減することができます。



【屋根材】

熱線遮断RFP板 DRタイプ

日射しによるカーポート下の温度上昇を軽減。建物に隣接して設置した場合には室内の温度上昇も軽減し、省エネにも貢献します。さらに、有害な紫外線をほぼ100%カットします。

商品のお問合せは…



(有)高建ハウジング西インター営業所
福島市成川字上谷地64-6
024-572-7020
<http://www.kouken-housing.jp>
kenichi@kouken.arrow.jp